

4. 京丹後市久美浜町太刀宮文書等調査(3)

山田 洋一

1. 調査の経緯と概要

太刀宮文書は、京丹後市久美浜町の神谷神社（太刀宮）が所蔵する文書群である。久美浜代官所と領地の村々の仲介事務を行った郡中代の家から大正7年（1918）に同神社へ寄附された。科研費基盤研究(C)「公儀触伝達にみる徳川領国と国持外様領国の両領国体制の存在と構造—幕藩体制構造研究」の基本史料とするため、調査を行った。

山田洋一（特任講師、研究代表者）、東昇（教員、研究分担者）、原田宗周（当時4回生）が担当した。同神社、関係機関の協力を得て、現地調査を行い、2020年8月5日に借用し、2021年6月7日に返却を行い、また同日に追加分を借用し、同21日に返却を行った。太刀宮文書（久美浜代官所郡中代等文書）、佐治家資料（熊野郡誌関係資料等）、その他を確認し、各々の目録を作成し、前2者の撮影を行った（フィールド集報7・8）。

2. 調査成果地域還元

調査成果の地域還元は、地域の関係者と協同して、企画展示（テーマ『『海の代官所』と太刀宮文書』、京丹後市立丹後古代の里資料館、2022年4月29日～9月11日）、文化財セミナー（同5月21日、於同市久美浜庁舎、参加者80名）と出前講座（京都府立丹後緑風高等学校久美浜学舎2年生みらいクリエイト科「みらい探究Ⅱ」＜同5月18日、現地見学、同文書の原本解説等＞）を行った。

3. 調査報告書の刊行と今後の取り組み

太刀宮文書等の今後の参考とするため、調査報告書を本学文化遺産叢書第26集『京丹後市久美浜町太刀宮文書（久美浜代官所郡中代等文書）・佐治家資料調査と御用留横断研究』として刊行した。今後の取り組みは、撮影した画像データについての活用等で、関係者と協議していく予定である。

編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱いは、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
